2021 年 11 月 2 日作成
Ver.1.0

研究課題名	HIV 感染症に伴う日和見合併症・悪性腫瘍の全国実態調査　2020-2022 年
所属（診療科等）	長崎大学病院　感染制御教育センター
研究責任者	泉川公一（教授・センター長）
研究機関	本研究は長崎大学病院　感染制御教育センターを中心に全国の HIV 診療拠点病院が研究協力施設となって実施します。 詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」までご連絡ください。
研究期間	長崎大学病院長許可日～2023 年 3 月 31 日
研究目的と意義	背景：HIV 感染症の日和見感染の日本の長年の傾向をみる累積データというものはこの研究以外にはありません。 目的：日本における HIV 感染者に見られる日和見合併症の実態とその年次推移を明らかにし、日和見合併症の対策策定の基礎資料とすることを目的とします。 意義：本研究では日和見悪性腫瘍以外の悪性腫瘍のデータ収集も行い、前年までのデータについての補足を依頼し、より詳細なデータの集積を試みます。本研究で行われる日和見合併症の疫学調査は 1995 年より行われており、今後も継続することで、日本における日和見合併症の 20 年余にわたる動向が集積されることになり、今後の日本の HIV 感染症の状況を示す貴重なデータとなり、今後の厚生労働行政の基礎データとなります。また、日和見感染症発症者の長期的な予後改善に寄与すると考えられます。
研究内容	●対象となる患者さん 2020 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日の間に全国 HIV 診療拠点で診断した、AIDS 指標疾患 23 疾患を新規に発症した患者さんと、HIV 感染者で新規に悪性腫瘍を発症した患者さんを対象とします。
	●利用する情報 1.対象症例の有無(全対象施設) 2.日和見合併症の概要(日和見合併症経験施設のみ) 3.悪性腫瘍の発生状況 本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。 なお、各施設では毎年の返送締め切り後から 3 ヶ月を経過した時点で対応表の破棄を求めており、連絡を頂いたタイミングでは個人を特定できることが出来なくなるため情報の利用の拒否について対応することができません。あらかじめご了承ください。

	●研究の概要・方法 全国 HIV 診療拠点病院（2020 年 4 月現在 380 病院）に対してアンケートおよび依頼文書を送付し、送付年より前年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに診断した AIDS 指標疾患 23 疾患を発症した患者情報について記載し、長崎大学病院感染制御教育センターへ郵送で返送を依頼します。上記の発送と情報収集を 3 年間（2021-2023 年）毎年行います。 悪性腫瘍の発生調査は、前年の調査に漏れた施設からのデータ送付を促すとともに、協力施設の前回調査以降の症例についてアンケートに記載し、返送を依頼します。 返送されたアンケートをもとに、1995 年から送付前年の収集済みデータと合わせて解析を行います。
問い合わせ先	【研究担当者】 氏名：田中健之（医師）　長崎大学病院　感染制御教育センター 住所：長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7731　FAX　095（819）7766 【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療安全課　095（819）7616 受付時間　：月～金　9：00～17：00（祝・祭日を除く） 【鳥取大学医学部附属病院における担当者】 氏名：岡田健作（医師）　鳥取大学医学部附属病院　感染症内科 住所：米子市西町 36 番地 1 電話：0859（38）6076　FAX：0859（38）6086